CASBEE®-建築(新築)　評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2016年版　|使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要

建物名称	(仮称)道の駅「くまがや」整備事業	階数	地上1F
建設地	埼玉県熊谷市池上字高根1168	構造	木造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	530 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,020 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,飲食店,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年12月　予定	評価の実施日	2025年6月30日
敷地面積	8,575 ㎡	作成者	熊田　実祐季
建築面積	2,878 ㎡	確認日	2025年7月24日
延床面積	2,878 ㎡	確認者	熊田　実祐季

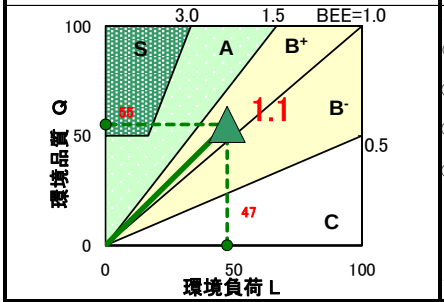
1-2 外観



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

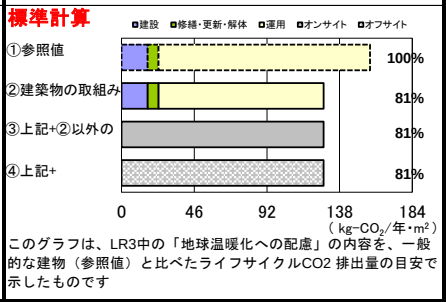
BEE =1.1

S: ★★★★★　A: ★★★★　B+: ★★★　B-: ★★　C: ★



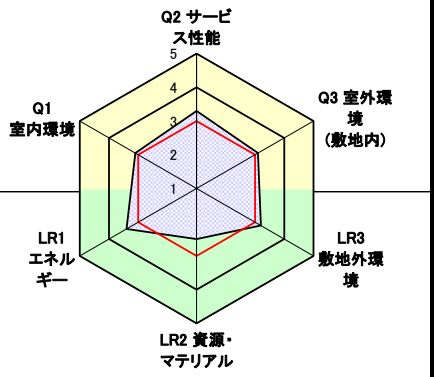
2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

30%: ☆☆☆☆☆　60%: ☆☆☆☆☆　80%: ☆☆☆　100%: ☆☆　100%超: ☆



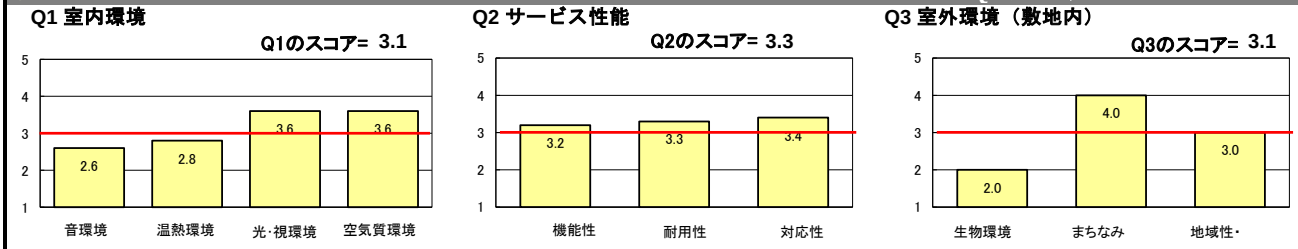
このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

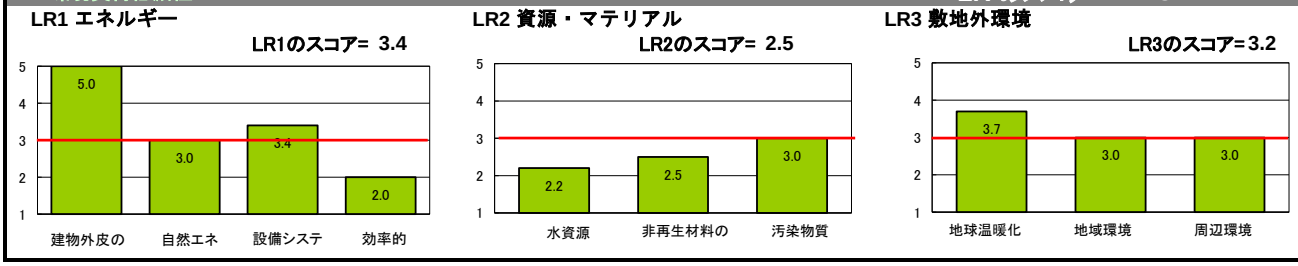


2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.2



LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.1



3 設計上の配慮事項

総合
サービス性能・室外環境に配慮した建築物となっている。

その他
ライフサイクルCO2排出率の削減に努めている。

Q1 室内環境
ほぼ全面にF☆☆☆☆の建築材料を採用している。
建物内を禁煙としている。

Q2 サービス性能
階高の平均を3.9m以上としている。
25%増の耐震性を有している。

Q3 室外環境（敷地内）
外構緑化指数を50%以上としている。

LR1 エネルギー
BPIm=0.75

LR2 資源・マテリアル
ODP=0の冷媒を使用している。

LR3 敷地外環境
建築物の見付面積比を40%未満としている。
隣棟間隔指数Rwを0.5以上としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE埼玉県　重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン	CASBEE埼玉県2016年版

1　建物概要

建物名称	（仮称）道の駅「くまがや」整備事業	BEE	1.1	BEEランク	★★★

2　重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
3.7	＋	2.6	＝	6.3	

重点項目の各スコアーの合計点

がんばろう	良い	非常によい	すばらしい
6.0未満 	6.0以上 	6.8以上 	8.0以上 

3　重点項目についての環境配慮概要

（1）ライフサイクルCO2の削減　　スコア平均　3.7

＜CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア＞

LR3　敷地外環境対策	1．地球温暖化への配慮	スコア	3.7

＜配慮した内容を記述＞

ライフサイクルCO2排出率を81%としている。

（2）緑の保全・創出　　スコア平均　2.6

＜CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア＞

Q3　室外環境（敷地内）	1．生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3　室外環境（敷地内）	3．2　敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3　敷地外環境	2．2　温熱環境悪化の改善	スコア	3.0

＜配慮した内容を記述＞

外構緑化指数を50%以上としている。

：入力欄